



放送大学

東京足立学習センター <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/adachi/>

2021
9.30 No.64



放送大学東京足立学習センター機関誌

葦立

あしだち

【発行日】2021年9月30日

【発行】放送大学東京足立学習センター
〒120-0034 東京都足立区千住5-13-5
学びピア21(6階)

TEL.03(5244)2760 FAX.03(5244)2762

【編集】葦立編集室



荒川・学びピア21屋上より 令和2年8月撮影

Contents

● 客員教授就任の挨拶	2P
● 客員教授就任の挨拶	3P
● 通信指導について	4P
● 面接授業について	4P
● システムWAKABAに入ってみよう	5P
● 放送授業をインターネットでみる	5P
● 事務室からのお知らせ	6P

客員教授就任の挨拶

「社会で活躍するロボット技術」



放送大学東京足立学習センター客員教授

釜道 紀浩



みなさん、こんにちは。釜道紀浩(かまみちのりひろ)と申します。東京足立学習センターから程近い東京電機大学の未来科学部ロボット・メカトロニクス学科で教授を務めております。2017年から本センターにおいて非常勤講師として「生物に学ぶものづくり」という面接授業を担当しておりましたが、本年度から客員教授に就任することになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私の専門はロボット工学です。ロボットというと、みなさん様々なイメージをお持ちだと思います。ヒト型のヒューマノイドロボットをイメージする方が多いかも知れません。他にも、掃除ロボット、警備ロボット、介護・アシストロボット、エンターテインメントロボットをはじめとするサービスロボットや、探査ロボット、救助ロボットなどの特殊環境用ロボット、工場で稼働する産業用ロボットなど思い浮かべる方もいらっしゃるのではないのでしょうか?自動運転車やドローンなども身近なものとなってきましたが、それらもロボットと捉えることができます。ロボットは、センサを用いて状態や外部環境を検出し、コンピュータで適切な判断や制御入力の設定を行い、アクチュエータなどで動きや機能を生み出すものです。様々な先端技術の組み合わせで実現されるものであり、ものづくり技術の発展や、コンピュータの性能向上、AI、ICTの進展によって、革新的なシステムや機能が具現化され、社会での活躍の場が広がっています。コロナ禍による「非接触」「非対面」のニーズに対しても、ロボットの活用が期待されています。

私の研究室では、主にロボットのモーション制御に関する研究を行っております。生物の優れた機能に着目し、柔軟で技能的な働きをするロボットの実現を目指して、人工筋肉と呼ばれるソフトアクチュエータや生物模倣ロボットなどのソフトロボットの研究に取り組んでいます。狭小空間を移動可能なミミズを模したロボットや、少ないモータで移動を実現するトカゲ型4脚歩行ロボットなどがその一例です。また最近では、ロボット技術の社会実装として、野菜自動収穫ロボットや自動除草ロボットなど農業分野で活躍するロボットの研究開発を産官学連携で進めています。今後、面接授業や自主ゼミ等でご紹介できればと思います。

現在、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、新たな行動様式が模索され、学びの環境も変化している状況です。不自由を感じる中でも積極的に学習に取り組むみなさんの学びの一助となれるよう、また、工学や科学技術への興味が深まる機会をつくれるように努力して参ります。

客員教授就任の挨拶

「学問と演奏の二刀流」



放送大学東京足立学習センター客員教授

永原 恵三



2021年3月にお茶の水女子大学を定年退職し、4月から本学習センター客員教授に着任いたしました、永原恵三です。2015年からの南関東学習センター合同プロジェクト「第九を歌おう」以来の5年間は、面接授業を担当しておりました。また、遡ると2002年2月～3月には、足立区生涯学習振興公社主催公開講座の連続講座「バロックの音楽と文化」で、この「学びピア」に伺いましたので、このセンターにはとてもご縁を感じております。

私の専門は音楽学と声楽・合唱指揮で、学問と演奏実践の二足のわらじ、最近のはやりで言えば、「二刀流」を演じております。もちろん、それぞれについても専門の領域があります。共通するのは、対象が声を用いた音楽であることや、実際の演奏現場を考えることであったりします。具体的には、西洋音楽ではルネサンスやバロックなど古いところから現代にいたる合唱やアンサンブルの音楽、日本では祭礼行事のお囃子や民謡などが対象です。以前はフィールドワークにもよく出かけておりました。また、カトリック教会の音楽も現代を中心にして研究しています。学問をする上で、実際の演奏の現場を踏まえることが大事だと考え、机上で完結しない研究を心がけています。そのため、必然的に、それぞれの音楽の伝承や様式などを、自分の身体に落とし込むこととなります。

こうした研究のあり方から出てきた成果が、「思考としての音楽」という考え方です。2012年に『合唱の思考 柴田南雄論の試み』という著書を刊行しておりますが、そこでは柴田南雄という日本の現代音楽の巨匠に力を借りることで、合唱音楽の在り方を本源的に捉えました。音楽を作曲したり演奏したり、もちろん聴いたりすることには、いずれも感性の分野が作用しているの言うまでもありません。しかし、それとともに、人間の思考がそこに作用していることも、私たちはもっと積極的に理解してもよいのではないかと、思っています。「思考」は、世間で考えられているような「頭でっかち」なことではなく、私たちの「身体」、「肉体」というフィジカルな面での実際の働きと深く関わっていることです。これはとりわけ声について考えてみるとよくわかります。

合唱やアンサンブルという集団での音楽行動は、構成員の一人ひとりの声や音を、それぞれ異なったものとして生かしながら、音楽というシステム全体が作用するときに来上がるものです。一人ひとりの差異があるからこそ、全体の豊かな音響が生まれると考えています。音楽活動のなかに、私たちがこの社会を生きてゆくための様々なヒントが散りばめられているのではないかと、思っております。

通

信指導について

● 通信指導とは?……学期の途中に提出しなければならない中間試験のようなものです。

放送授業と一部のオンライン授業科目について、授業の一部として各学期の途中に1回一定の範囲で出題され、その答案を提出して担当教員の添削指導を受けることです。

通信指導の結果により、単位認定試験の受験資格を得ることができます。
未提出あるいは期限までに提出しなかった場合は、評価対象とはなりませんのでご注意ください。

問題は原則、印刷教材(テキスト)と同時に送付されます。内容は、概ね放送授業7~8回終了時点までの内容になっています。また、インターネット(web通信指導)でも提出可能です。(※一部の科目を除く。)

提出期間 【郵便】 11月16日(火)~11月30日(火) 《大学本部必着》

【Web通信指導】 11月9日(火) 10:00~11月30日(火) 17:00

(提出期限を過ぎると受理されませんので余裕を持って提出してください。)

**添削結果
返送時期**

2021年12月末~1月上旬

《添削結果が以下の未着期限までに届かない場合は、大学本部にお問い合わせください。》

① 択一式科目(併用式科目の択一部分)…… 1月7日(金)

② 記述式科目(併用式科目の記述部分)…… 1月17日(月)

面

接授業について

● 面接授業とは?

放送大学では、全国の学習センター等において年間約3,000科目の「面接授業(スクーリング)」を実施しています。面接授業は、直接教員から指導を受ける機会として重要であるばかりではなく、学生同士の交流・啓発の場としても広くご活用いただいております。

全科履修生は、卒業要件として、面接授業(またはオンライン授業)の単位を20単位以上修得する必要があります。選科履修生・科目履修生の方は必修ではありませんが、ご自身の学習したい内容に合わせて面接授業を受講することができます。(面接授業は1科目1単位です。)※教養学部のみ

—2021年度第2学期面接授業追加登録について—

科目登録決定後に空席のある科目については、追加登録期間中に科目の登録を追加することができます。授業を実施する学習センターにより登録の手続き方法が異なりますので、必ず授業を実施する学習センターに確認してください。

※今後の状況により変更となる場合があります。

**追加登録
日程**

空席発表

10月15日(金) 12時

空席状況は放送大学ホームページと
学習センター掲示板等でお知らせします。

登録期間

10月21日(木)~科目ごとに定められた受付期日まで

10月21日(木)15時以降、システムWAKABAで空席の状況をリアルタイムで確認できます。

重 要

新型コロナウイルス感染症の状況により、面接授業の開講中止、Web方式への変更、ご自身の居住都道府県外に所在する学習センターで開講する面接授業の越境受講の禁止などの変更を行う可能性があります。変更が生じた場合、面接授業について必要な単位が修得できなくなる可能性があることを予めご理解いただき、オンライン授業や放送授業の履修登録をご検討ください。

東京足立開講の面接授業の変更については、学習センターのホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

システムWAKABAに入ってみよう

●大学ホームページから

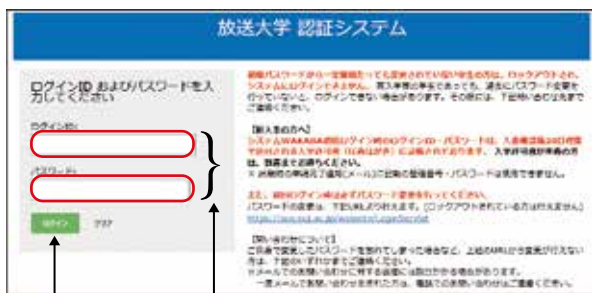


システムWAKABAをクリック



ログインをクリック

●次の画面になる



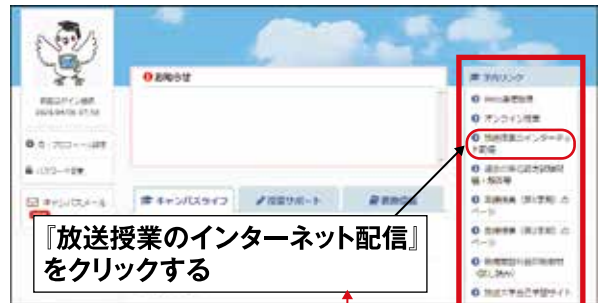
ログインをクリック

入学許可書に記載の「ログインID(学生番号)」、
「パスワード」をタイプする

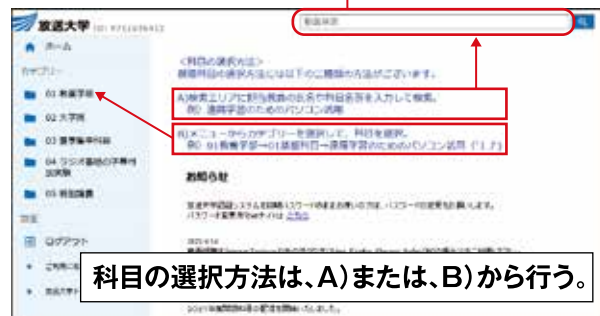
パスワードは後で変更してください。
変更しないと時期がきたらロックされる
ので注意

放送授業をインターネットでみる

●システムWAKABAに入ったら、 右の欄「学内リンク」から、



「放送授業のインターネット配信」
をクリックする



科目の選択方法は、A)または、B)から行う。

●B)メニューからカテゴリーを選択して、 科目を選択する場合

例えば、教養学部の「教育社会学概論19」の
科目を視聴したい



①「01教養学部」
をクリックする。

②社会教育学概論('19)は、心理と教育コースの 科目だから、「04心理と教育コース」をクリック



③「01社会教育学概論('19)」をクリックする。




④見たい回をクリックする。

事務室からのお知らせ

● 東京足立学習センターのご利用について

新型コロナウイルス感染防止のため、引き続き以下の点にご注意いただきご利用ください。今後も変更が生じましたら、その都度、東京足立学習センターホームページにてお知らせします。

注意事項	
ご利用時の お願い	<ul style="list-style-type: none">①館内では、マスクの着用をお願いします。②入館の際は、手指の消毒や手洗いををお願いします。③他の方との距離を空け、大声での発声や近接した距離での会話等をお控えください。④咳・発熱・強いだるさ・息苦しさ・その他体調に不安のある方は入館をお控えください。⑤窓口のビニールカーテン設置や座席の間引き、常時換気等の感染の防止にご協力をお願いします。 

● 2021年度第2学期単位認定試験の実施について

7月に実施をした2021年度第1学期単位認定試験については、新型コロナウイルス感染症をめぐる国内状況に鑑み、代替措置として自宅受験という方法で実施いたしました。2021年度第2学期単位認定試験についても、新型コロナウイルス感染が拡大する可能性を考慮し、代替措置による自宅受験にて実施いたします。

1. 単位認定試験期間

当初予定していた日程を変更し、以下の日程で実施いたします。

2022年1月14日(金)～1月21日(金) (消印有効)

※事前に周知していた試験日程とは異なります。配布済みの授業科目案内やシステムWAKABAの時間割等は、変更前の日程で記載されていますので、期間をお間違えのないようご注意ください。

2. 単位認定試験実施方法

実施方法については、2021年度第1学期に準じた方法(自宅で答案を作成し、郵便で提出する方法です。)にて実施する予定です。

なお、2021年度第2学期の単位認定試験については、これから大学で検討を進め、郵便や大学ホームページ、システムWAKABA等で順次お知らせいたしますので、必ずご確認ください。

また、学籍に登録している住所が誤っている場合、単位認定試験の受験に必要な受験票や解答用紙等、郵便物の未着や遅延が発生いたします。登録住所に誤りや変更がないか、システムWAKABAの学生カルテ(住所・連絡先情報)にて、あらためてご確認くださいませようお願いします。